

事務事業評価表（建設事業等）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年4月18日

1 事業名	保育園園舎等整備事業			コード	51207	
2 担当部課	部等	健康福祉部	課等	子ども課	作成者	秋山仁志
3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち			
		政策	子育て支援	施策	子育て支援の充実	
		予算科目	保育園園舎整備事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	

●事業の実施内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	保育園において保育を行う児童とその保護者のために、保育園園舎等の施設整備を行うことで、保育環境の改善と施設の機能を高める。		
目的	対象者	園児、保護者等	
	意図	保育環境の改善、施設機能の強化	

5 事業の必要性	*事業を計画した当時、この事業が必要になった状況・理由		
「岡谷市保育園運営計画」に基づき、老朽化の進む園舎等について、児童の安全確保と保育環境整備のため、必要な改修を行う。			

6 事業の全体計画	*各年度 of 取組計画			
予定全体事業費	377,119,089	円	事業期間	H14～25年度
23年度まで	神明保育園大規模改修工事、今井保育園屋根大規模改修工事、神明保育園駐車場等整備工事			
24年度	東堀保育園建設用地先行取得事業			
25年度	東堀保育園建設用地先行取得事業			
26年度以降	東堀保育園建設用地造成事業、東堀保育園建設工事（補助金）、西堀保育園建設用地造成事業、西堀保育園建設工事（発達支援センター含む）、園庭芝生化事業			

7 事業の実施内容	*各年度の進捗状況		
23年度まで	神明保育園大規模改修工事、みなと保育園駐車場舗装工事、今井保育園屋根大規模改修工事、未満児童・給食室冷暖房機設置工事、園庭遊具整備工事、長地保育園アスベスト除去工事、長地保育園階段等改修工事、神明保育園駐車場等整備工事、今井保育園地上オイルタンク設置工事、みなと保育園中庭改修工事		
24年度	今井保育園地上オイルタンク設置工事 みなと保育園中庭改修工事		
25年度	東堀保育園用地先行取得事業 成田保育園防火設備改修工事		
前年度の課題への対応	東堀保育園用地先行取得事業については、土地取得のために地権者との調整を行うとともに、開発行為準備を進め、西堀保育園（発達支援センター）については、庁内検討を深めた。		

8 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度まで(累計)	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	366,848,989	2,270,100	2,499,000	1,500,000
経常経費		0		
臨時的経費	366,848,989	2,270,100	2,499,000	1,500,000
* 臨時的経費の説明	工事費等の投資的経費			
② 人件費		4,000,000	4,000,000	4,000,000
正規職員の人数(人)		0.50	0.50	0.50
③ 合計コスト(①+②)	366,848,989	6,270,100	6,499,000	5,500,000
前年度比			103.7%	84.6%
財源	183,249,989	6,270,100	6,499,000	5,500,000
一般財源				
内訳	183,599,000	0		
特定財源				
* 特定財源の説明				

●事業の評価(CHECK)

9 事業の進捗状況

区分	23年度まで(累計)	24年度	25年度	26年度(予算)
進捗率	97.3%	97.9%	98.5%	
直接事業費の執行率				
その他の進捗率				
* その他の進捗率の説明				

事業をとりまく環境変化	今まで	<p>(これまでに生じた政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業に影響があったこと)</p> <p>平成20年度策定の「岡谷市保育園運営計画」に基づき、老朽化の進む園舎等について、児童の安全確保と保育環境整備のため、必要な改修を実施してきたが、厳しい財政運営を余儀なくされており、多額な費用を要する施設整備の実施にあたっては、計画的な整備が求められていることから、平成24年度において「岡谷市保育園整備計画」を策定した。</p>
	今後	<p>(26年度以降に予測される政治・経済・文化などの状況変化のうち、この事業の進行・完了に影響すると思われること)</p> <p>「岡谷市保育園整備計画」では、目指すべき保育園像を実現するため、再編や民営化についても積極的に検討することとしているが、平成27年度から始まる子ども・子育て支援新制度に基づき策定する、子ども・子育て支援事業計画と整合を図りながら進める必要がある。</p> <p>また、民間独自による保育園整備の計画もあることから、それらの動向を踏まえながらの対応が必要となる。</p>

●改善の内容(ACTION)

10 今後の課題と対応策

今後の課題	<p>(環境変化を考慮して事業を進めていく上で、26年度以降に課題になること)</p> <p>「岡谷市保育園整備計画」において、前期に整備を図るとしている、東堀保育園、西堀保育園の整備に向け取り組むが、国の動向を見定めながら、また市民や地域の声を十分聴取しながら、よりよい保育サービスが提供できる施設整備に取り組む必要がある。</p>
課題への対応策	<p>(上記の課題をふまえて26年度に実施する、具体的な対応方法)</p> <p>平成26年度は、平成23年度から取り組んでいる東堀保育園の用地先行取得を完了させるとともに、並行して、東堀・西堀両保育園をどのような整備手法により、どのような整備を図るかなど、より具体的な検討を、子ども・子育て支援審議会をはじめ、地域や市民の意見を聴取しながら進める。</p>

●次年度の計画(PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---